



在宅看取りを選択できる世の中を目指して

医療法人 SIRIUS いしが在宅ケアクリニック

理事長・院長 石賀 丈士

いしが たけし ●プロフィール

1975 年大阪府生まれ。2001 年に三重大学医学部を卒業後、三重大学附属病院第二内科、山田赤十字病院内科・呼吸器科に勤務。2007 年からはその診療所所長を 2 年間務め、2009 年に三重県四日市市に緩和ケアを中心とした在宅医療専門のいしが在宅ケアクリニックを開業。年間 400 例を超える在宅での看取りを行っている。



私が医師になるきっかけは祖母の影響が大きい。全盲で認知症の祖母はまったく医療のお世話になることなく自宅で暮らし、亡くなる前日まで普通にごはんを食べ、自然なかたちで最期を迎えたのだ。そんな祖母の生き方や死を見てきた私にとって、大学病院で苦痛に満ちて亡くなっていく患者さんたちの姿は衝撃的であった。私が生まれた 1975 年は自宅と病院で亡くなる人がちょうど

半々の時代であった。しかし、現在の日本は国民の 80% が病院で亡くなるという世界でも類をみないおかしな国であり、自宅で亡くなる人はたったの 13% しかない。また、自宅死の半数が検死が必要だったり、孤独死であるという現実も知らない人がほとんどである。そうした現実を変えるため 2009 年三重県四日市市に在宅医療を専門とした「いしが在宅ケアクリニック」を開業し、まずは四日市市を日本の在宅医療および在宅看取りの最新モデル地域とすべく活動を始めた。2019 年には四日市市の病院看取り率が 60.0% へと激減し、自宅死 18.5%、施設死 9.0% となり在宅死は合計 27.5% と急増した。当院も四日市市も在宅看取りの実績では常に全国トップレベルとなっている。また、講演会や小中学校でのいのちの授業などを行うことで四日市市の住民の意識も変わり、在宅看取りは自然なことだという文化もできつつある。

今後は四日市モデルを全国展開していくことが必要だ。すでに当院から巣立った志の高い医師が、在宅医療に特化した診療所を全国に 7 か所開設し活躍している。2020 年 3 月には当院も延床面積 554 坪の新社屋に移転し、次世代を担う人材育成を加速している。そして最終的には、在宅医療や在宅看取りを望むすべての人々が必要とする医療やサービスを受けられる時代が来ることを夢見ている。

CONTENTS

1 ● ECHO

医療法人 SIRIUS いしが在宅ケアクリニック

理事長・院長 石賀 丈士

2 ● 特集／新春座談会

新型コロナと

“ニューノーマル”時代の法人経営

10 ● 福祉・医療最前線

災害医療の経験を活かし、
新型コロナに立ち向かい地域に貢献する病院
— 東京都墨田区・

医療法人伯鳳会 東京曳舟病院 —

14 ● いきいきチャレンジ

誰でも「ぷらっと」立ち寄れる場所を目指して
— 千葉県市川市・特定非営利活動法人

ダイバーシティ工房 —

18 ● トラブルに学ぶ リスク対策

19 ● コミュニケーション向上委員会

20 ● WAM レポート

2021 年度 介護報酬改定に関するアンケート調査 (前編)

28 ● WAM セミナール

経営指標の読み方⑩

30 ● 勤どころ経営講座

令和 3 年度 介護報酬改定のポイント④…小濱 道博

32 ● マネジメント Q&A

33 ● みんなで考える子供の未来！

34 ● Information Box

独立行政法人福祉医療機構 新型コロナウイルスの感染症の影響を受けた事業者に対する福祉医療貸付事業の対応について／独立行政法人福祉医療機構 経営分析参考指標のご案内 (2020 年度決算分)